

まちづくりネット ニュース (第1号)

発行者 三芳町協働のまちづくり
ネットワーク運営委員会
委員長 山本 和男
三芳町大字藤久保1100番地1
三芳町役場総合政策室内
電話 049-258-0019

協働のまちづくり
ネットワークでは
現在5つのグル
ープが活動中
です。その活
動状況をご
紹介します。

みよしっ子

野菜市

開催



- 第1回 4月25日 (土)
 - 第2回 5月23日 (土)
 - 第3回 6月27日 (土)
- * 藤久保公民館みらい広場

産業観光 グループ

<活動テーマ>

三芳のまちづくり

産業観光グループでは、4月25日(土)に、第1回目の「みよしっ子野菜市」を開催しました。まずは、「地産、地消」を進めようというわけです。

当日は、天気予報が当たって土砂降りの雨。これほど雨が憎いと思ったことはありません。野菜の売行きを心配しながら会場へ向いましたが、予想に反して会場には大勢のお客様が…。開始1時間足らずで、ほぼ完売ということになりました。

昨年9月28日の発足から多くの会議を重ね、ようやく第1回目を迎えて、何とか無事に終了することができました。そして、5月23日(土)には第2回目を開催し、これも盛況のうちに売切れと

なりました。しかし、反省する点、改善すべき点が、まだまだあります。これらの点について検討を重ね、次に生かすよう努めながら、「みよしっ子野菜市」を土台に、消費者と農家の間をつなぐ効率的なシステムをつくりあげたいと思います。そして、その後には、三芳産野菜のブランド化に取組み、やがては「三芳の顔」となるような製品を生み出したいと考えています。

野菜市は毎月第4土曜日に開催予定
場所 藤久保公民館みらい広場
時間 午前10時から売切れまで

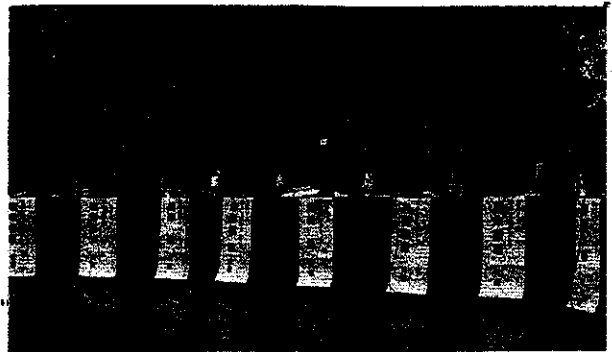
みんなで魅力ある まちをデザイン

3月8日(日)、「みんなで魅力あるまちをデザイン」をテーマに、三芳町協働のまちづくりシンポジウムを、藤久保公民館で開催しました。

「むかし“共同”いま“協働”」と題して、市民社会パートナーズ代表庄嶋孝広氏による基調講演が行われた後、「何気ない一歩が町を変える」と題するパネルトークが、コーディネーターに淑徳大学准教授駒崎久明氏、コメン

テーターに庄嶋孝広氏を迎え、まちづくりネットワーク各分野代表をパネリストとして行われました。

パネルトークは、各分野の活動状況を紹介しそれに庄嶋氏がコメントを加える形で進行しましたが、約100名の出席者からは熱心な質問が続出し、会場には「まちづくり」に対する熱気があふれていました。



都市安全 グループ

藤久保・唐沢・竹間沢小学校の 安全マップ基本調査終了

今月から三芳小学校マップの調査開始

基本重要テーマ

安全・安心なまちづくり

協働活動テーマ

安全安心マップの作成と活用



企 現地調査を重ねて、危険箇所の洗い出しを行う

私たちは、「子どもたちの将来を見据えた安全、安心な町づくり」を目指して、「安全安心マップの作成とその活用」をテーマに取り組むことにしました。

マップづくりは、藤久保小学校区から開始しました。学区内全域を実地調査し、危険箇所を抽出してマップに写す作業は、終わりが来ないのではないかとと思われるほどでしたが、どうにか完了にこぎ着けました。

続いて唐沢小学校区に移る頃には作業も順調に進み出し、現在では唐沢小・竹間沢小も完了し、今月から三芳小学校区にかかっています。町内五つの小学校区のマップが完成するのは、来年3月頃を予定しています。

課題は、終了した校区への「夜間の状況」と「ラッシュアワーの状況」調査が不足していること、最終的な完成へのまとめの方向性が未定なことですが、他の意見も聞きながら完全なものに近づけたいと考えています。

ふれあい

サロン

藤久保5区

健康福祉グループ

<活動テーマ> 高齢者の居場所づくり



第1回 4月16日(木)
第2回 5月30日(土)
第3回 6月30日(火)

藤久保第五区第1集会所

◀ハーモニカの演奏に合わせて合唱を楽しんだ

私たちは、「高齢者の居場所づくり」を当面の課題として取り組んでいます。高齢者ならどなたでも、気軽に、楽しく、ムリなく参加できる「ふれあいサロン」の開設です。

その第一歩として、4月16日(木)、藤久保第五区第1集会所で、第1回目の「ふれあいサロン」を開催しました。

参加者24名のほか、鈴木町長、山本協働のまちづくりネットワーク運営委員長なども視察に見え、健康福祉グループの会員も合せた総勢40名が、和気あいの楽しいひと時を過ごしました。

続いて、5月30日(土)に第2回目

を開催しましたが、参加者のアンケートでは、「合唱や雑談ができて、楽しかった」などの声が寄せられ、私たちの活動を勇気づけてくれました。

たとえ少々足が不自由でも、歩いて行ける場所にサロンがある、それが理想、町内10か所以上に必要だと考えます。各地域の皆さんのご協力をお願いします。

ふれあいサロン開催予定

第4回 7月29日(水)

第5回 8月28日(金)

時間 午後1時30分～午後4時

ボラグループの学習支援 不足する要員確保体制づくりに尽力

教育文化
グループ

<活動テーマ>

子どもの居場所づくり

最近、種々の事情によって不登校や引きこもりになる子どもが増えています。これらの子どもの学習を支援しているボランティアグループがあります。

外国籍の親を持つ子どもを対象とするグループと、家庭環境により学習の機会が十分に得られない子どもを対象とするグループの二つですが、彼らは、ボランティアの絶対数が足りない、学習場所の確保が難しい、といった悩みを抱えながら、熱意だけで活動を続けています。

そこで私たちは、これらの問題を解決する一助として、彼らの自主性を尊重しながらも、彼らと、彼らの活動を支援することが可能な者との間の橋渡しを行うことにしました。その一つが、ボランテ

ィア要員確保の体制づくりです。大学に要員派遣を要請したり、町民の皆さんからボランティアを募るためのポスターづくりなどを進めています。

子どもたちへの学習支援活動を継続していくためには、一人でも多くのボランティアが必要です。皆さんもぜひこの活動にご協力下さい。



みどり環境グループ

<活動テーマ> ①公園づくり、②雑木林の活用、③ゴミの処理

雑木林の整備作業を体験

ゴミの不法投棄防止と、雑木林を環境教育の場にするため、公園周辺の雑木林で5月からゴミ拾い、秋からは下草刈りや灌木の伐採等の作業体験を行います。公園の外からの死角をなくし、公園の安全性を高めるのが狙いです。

当面は北永井第三区の保全林関係者からの学習、地権者と隣接地住民との話し合い、用具類の確保などの準備を進めます。

<公園の改善対策について>

町内には50数か所の公園や子ども広場がありますが、安全で、楽しい公園への改造と、それを保全していくことが大切です。保全には近隣の皆さんのご協力が欠かせませんが、安全確保対策や緑蔭づ

くりなど、行政の支援も必要です。

そこで、当面は設備面を含めた現状の公園紹介アルバムを作成し、それを公開して、住民の皆さんのご意見を伺いたいと考えています。

<エコライフDAY埼玉に参加>

1月18日(日)、町内の小中学生などとともに、「エコライフDAY2008埼玉」に参加しました。20項目の生活改善事項を行ったかどうかを自己採点し、継続的なエコライフの指標とするものです。当日は、参加者2979人で杉の木191本分の二酸化炭素吸収量に相当する温暖化ガスを削減した計算となりました。

来年からは全町民参加を目標に、町職員や議員にも呼掛けをしたいと考えています。採点用紙の計算要員も募集しますので、皆さんもぜひご協力下さい。

まちづくりネットニュース

に関するお問合せは…

三芳町総合政策室 へ

049-258-0019

(内) 423